

GREEN RADAR

全農長野県本部情報 / グリーンレーダー



北陸新幹線試乗会参加者を迎えた「信州力」と
長野興農(株)オリジナルキャラクター「あっぷりん」

特集

平成27年度 事業計画骨子

A-Front

農林水産大臣賞を柳澤源太郎氏（アルストロメリア）が受賞
～「第46回 信州フラワーショー ウィンターセクション」開催～

A-Reports

- ・JA長野県LPガスの小売モデル事業がスタート
～JA全農長野クミアイプロパン松本センター・2月1日稼動～
- ・野菜ソムリエKAORUの冬野菜de美人レシピ
～銀座NAGANOから長野県の新たな魅力を発信～
- ・おいしい畜産料理やデザートで和やかに交流
～「信州の畜産・酪農家との交流会2015」を開催～

3

Vol.430

MARCH 2015



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

平成27年度 事業計画 骨子



I JA全農長野基本理念

会員JAとの一体的な事業運営により、生産販売から購買まで一貫する総合経済事業を通じて、JA組合員の営農と生活の向上に貢献します。

II 基本方針

1. 国内農業を取り巻く環境は、消費の減退と輸入農畜産物の増加等により、国内農畜産物の販売・生産・流通などに大きな影響を与えています。また、生産面では、耕作放棄地の拡大、小規模農家と大規模経営の二極化、企業の農業参入など生産構造は大きく変化しつつあります。更に、海外原料の世界的需要増大と円安による肥料・飼料・燃料価格の高止まり状態は、生産コスト圧縮の阻害要因となっており、農家経営は厳しさを増しています。

2. 農政では、昨年政府が決定した米の生産調整の見直しの導入以前に、米の需給バランスが崩れ、水田農業の担い手に大きな影響を与えつつあります。その一方で、日本農業に壊滅的な影響を与える

TPP交渉が、十分な情報開示もなく肅々とすすめられています。

また、閣議決定された規制改革実施計画においては、今後5年間を農協改革集中推進期間として農業協同組合の見直しを求めています。また、県域に根ざした事業運営の観点からの自己改革に取り組めます。

3. 長野県本部は、「中期事業計画（平成25（27年度）」及び「中期事業ビジョン」を基本に、農家組合員の経営安定と農業生産基盤の維持に向け事業をすすめてきました。27年度は、中期事業計画の最終年度として、JAとの一体的事業展開の更なる前進により、JA経済事業の競争力強化と収支改善に取り組むとともに、JA組合員の営農とくらしを守る事業の実践に努めるものとします。

4. 更に、県本部グループのガバナンス体制の再構築、県本部総合経営管理制の強化により、部門別事業競争力強化と経営基盤の確立をはかり、県域結集の拡大と結集成果を反映したJA・組合員へのメリット還元に努めます。

とともに、新技術対策を中心に品目別研修会の開催などに取り組めます。

2. 生産販売事業

(1)マーケットインに基づく品目提案と基本計画に基づいた他品目との複合経営誘導による適正生産を推進し、生産基盤の維持強化をはかります。

(2)生産者規模に応じた販売提案や規格等級の簡素化をすすめ、系統集荷の向上をはかります。

(3)多様なチャネルを通じ実需者への営業力強化をすすめるとともに、総合品目供給対応により販売力強化をすすめます。

(4)卸売市場流通の変革に伴い、長野県農産物供給市場の拠点化と分荷調整機能の発揮により価格形成力強化をはかります。

(5)長野米共同計算を柱とし、系統結集強化と実需者に直結した長野米のブランド確立に取り組めます。

3. 生産購買事業

(1)生産購買事業は、系統結集による仕入機能の強化と安定供給を基本として、農家組合員ニーズに応える競争力ある製品の開発・供給をすすめます。また、県域受託物流及

【事業運営の基本目標】

1. 長野県農業の生産基盤強化と信州ブランドの確立
2. 営業力強化による顧客確保と生産流通コスト削減による生産者手取り最大化
3. JAとの一体化によるJA生活事業の競争力強化と経営収支の確立

【経営管理の基本】

磐石な経営管理体制の確立

III 経営方針

1. 総供給販売高計画

2,711億円

27年度計画

生産販売部	1,513億円
生産購買部	381億円
畜産酪農部	300億円
生活部	517億円

※総供給販売高には内部販売32億円を含む

2. 税引前当期利益

3億2千万円(税引後1億9千万円)とします。

3. 奨励施策

施策の選択と集中をはかり、経済事業改革等の取り組みによる

事業基盤の確立と担い手総合支援対策に資する戦略的・重点的な事業奨励とします。

4. 事業管理費

業務の効率化による事業運営経費および総人件費の精査により事業管理費の圧縮に努めます。

5. 機構・要員

JAとの一体的な事業運営・農業生産基盤強化・販売力強化等の確実な実践に向け、JAとの人事交流も含め効率的な事業体制と機能発揮に向けた機構・要員配置とします。

6. 施設投資・外部出資

財務の健全性を基本に置き、事業の将来展望・戦略性及び必要性・費用対効果・緊急性を十分検討し、投資回収基準（3年単黒、5年累損解消、10年投資回収）に沿ってすすめます。

IV 事業方針

1. JA長野県営農業

(1)農業所得アップと地域農業振興を実現するため、JA農業振興レジョンの実践や、地域における農業政策フル活用を支援するとともに、JA

協同経営は、重点購買と業務の標準化・合理化を一層すすめ、収支確立と組合員満足度の向上を目指します。

(5)施設住宅事業は、施主代行を事業の基本とした提案型の事業推進を行い、耐震・省エネ・福祉関連施設の設計管理に積極的に取り組み、農業施設の高度化・統廃合を進めるとともに、組合員の土地活用支援と住環境改善事業に取り組みます。

4. 畜産酪農事業

- (1)関係機関と連携した生産性向上対策と販売力の強化により、農家経営の安定をはかります。
- (2)素畜（子豚、素牛、初妊牛）確保のために、県本部牧場・SPF豚繁殖センターの供給体制を拡充するとともに、JAと連携し、受精卵移植・性判別精液の活用等により生産拡大をはかります。
- (3)販社等と連携し販路の拡充や新商品の開発に積極的に取り組み、信州産畜産酪農品のブランド力を強化します。
- (4)飼料コスト削減のため、飼料用米の地域内流通の促進に取り組みます。
- (5)県下各地区の畜産酪農指導体制の

整備に取り組み、専門指導体制を強化します。

5. 生活事業

- (1)石油卸事業は、系統結集による仕入強化と安定供給確保のための仕入ルート多元化と物流体制効率化に取り組みます。LPガス事業は、JA小売事業と保安体制の支援により運営強化をはかるとともに、LPガス小売モデル事業を展開して事業改革に取り組みます。
- (2)SS協同経営事業は、お客様視点に立ったサービスの提供とJAらしい魅力ある事業展開をはかり、地域の組合員ならびに利用者に愛される店舗づくりに努めるとともに、SS競争力強化の実践と経営収支の改善に取り組みます。
- (3)自動車事業は、営農車を基軸に小まめな推進方策を展開し、(株)ジェイエイオート長野を核とした事業ネットワーク化（中古車・整備）を前進させます。
- また、JA・子会社の経営自立に向けた事業改善を支援します。
- (4)宅配事業は、総合的な検証のうえ効率的な事業体制に見直すとともに、JA宅配の強みである「おまかせコース」を主とした新規顧客の

獲得による会員数維持に努めます。

組織購買事業は、組合員ニーズに合致した品目を提案し、JA組織力を活かした事業展開に取り組みます。また、生活物流体制の再編をすすめます。

- (5)家庭薬事業は、コンプライアンス態勢の維持と配置員の推進力を強化するとともに、JAとの連携強化により新規配置等の普及に努めます。セレモニー事業は、家族葬など時代環境に対応した事業展開に努めるとともに、JAの専門子会社化、県域との共同運営化及びJA虹のホールグループによる事業強化をすすめます。

6. 経営管理

- (1)県域結集と事業競争力の強化によるJA・組合員へのメリット還元を基本とする長野県本部総合経営管理制を堅持します。
- (2)事業環境の変化を踏まえ、県本部機能に見合う部門別収支の検証と見直しを行い、経営の安定化をはかります。
- (3)全農グループ統一の一斉事業点検や県本部独自の業務点検の実施により、コンプライアンス推進と「重点管理すべきリスク」①食品表示



農林水産大臣賞を受賞した柳澤源太郎氏（JA信州諏訪）のアルストロメリア「サンマリノ」



アレンジメント作りに挑戦する小学生

農林水産大臣賞を柳澤源太郎氏（アルストロメリア）が受賞

「第46回信州フラワーショーウィンターセレクション」開催

全農長野県本部とJA全農長野花き専門委員会は1月29日(木)・30日(金)、JA南信会館（伊那市）において「第46回信州フラワーショーウィンターセレクション」を開催しました。昨年の雪害による施設の被害に加え、夏の天候不順や円安による資材等の高騰などの影響が心配されましたが、生産者・関係者の努力により391点昨年416点が出品されました。

全体的に発色が良くボリューム感もあり、見栄えの良いものが多くありました。また、各色とも大輪系の品種が多く出品されたため一層華やかを感じられました。

関東農政局長賞を受賞した大平正彦氏（JAみなみ信州）のダリア「マルコムズホワイト」は、大輪で非常に見栄えのする素晴らしい評価されました。ダリアは32点が出品されており、花の大きさや花色の多様化により、存在感が大きくなってきています。

農林水産大臣賞を受賞した柳澤源太郎氏（JA信州諏訪）のアルストロメリア「サンマリノ」は、「花首の長さなどのバランスが良く市場性が高い。結束方法も優れておりまとまりました。アルストロメリアは全出品数の6割以上（246点）を占め、

長野県が生産量第一位であるアネモネは、47点の出品がありました。従来からの品種「モナリザ」に加え、新品種「ミストラルプラス」も加わり、多様になりました。他にも、花木類はレンギョウやサクラなど39点、カーネーション、LAユリ、キンギョソウ、デルフィニウムなど、冬期にもかかわらず多くの品目が出品されました。

一般公開では、種苗会社・資材会社の協力により、各社の推奨品目・品種・資材の展示コーナーを設置しました。また、会場の装飾や販売用のアレンジメントは県内生産者が手掛け、来場者を迎えました。

小学生向けの花育として、長野県花きイノベーション推進協議会と連携したアレンジメント教室を開催しました。JA上伊那の職員を講師に迎え、生産者に補助講師として参加していただき、花を通して子どもたちの交流の機会を設けました。

第46回信州フラワーショーウィンターセレクション入賞者（敬称略）			
農林水産大臣賞	氏名	JA名	品目名
農林水産省生産局長賞	柳澤源太郎	信州諏訪	サンマリノ
農林水産省関東農政局長賞	大平正彦	みなみ信州	マルコムズホワイト
全国農業協同組合連合会長賞	(御信州グリーンサポート)	上伊那	アルストロメリア
長野県知事賞	小笠原秀樹	上伊那	アルストロメリア
	飯島亮一	信州諏訪	アネモネ
	木下真太郎	みなみ信州	ダリア
	唐澤勲	上伊那	アルストロメリア
	酒井弘道	上伊那	アルストロメリア
	古畑雅一	上伊那	アルストロメリア
	伊藤幸徳	信州諏訪	アネモネ
			モナリザ

このフラワーショーを通して「栽培技術を競い、技術の向上と本県花き産業の振興を図る」という信州フラワーショーの目的を達成することができました。また、来場者の皆様に長野県産切り花の高い品質をPRするとともに鮮度の良い産地直送の切り花を販売して喜ばれました。今後もこのような機会を活用し、花き類の生産振興と消費拡大を取り組んでまいります。

（野菜花き課）

J A長野県LPガスの 小売モデル事業がスタート

～JA全農長野クミアイロパン松本センター・2月1日稼動～

全農長野県本部燃料・ホームエネルギー課は、2月1日(日)に「全国農業協同組合連合会長野県本部クミアイロパン松本センター(略称/JA全農長野クミアイロパン松本センター)」をJA中信会館内に開設しました。同センターは、これまでJA松本市が担っていたLPガス小売事業を、LPガス小売モデル事業として承継します。全農各県本部及び関連会社がJAからLPガス事業を承継する事例は多く、平成26年6月末時点で全国では22万8千戸にの



JA全農長野クミアイロパン松本センター-開所式



2月10日の開所式

ぼります。

JAのLPガス事業を取り巻く環境は、電力・ガスシステム改革やシエールガス革命などにより、大きな変化が予測されます。JA組合員のエネルギーに対する意識も、省エネや環境への配慮、安全安心と同時に災害に強いエネルギーへの期待が高まっています。その中でLPガスは、政府のエネルギー基本計画において、「可搬性、貯蔵の容易性に利点があることから、平時の国民生活、産業活動を支えるとともに、緊急時にも貢献できる分散型のクリーンなガスのエネルギー源である」という高い評価がされています。また、中山間地の多い長野県においては、重要なライフラインでもあります。

今後は、このLPガスの強みを最大限に活かし、環境変化に対応して、JA長野県LPガス事業の事業資源及びノウハウを最大限に活用するためのモデル事業として、ダイナミックな経済事業変革に挑戦します。

▼燃料・ホームエネルギー課

野菜ソムリエK AORUの冬野菜de美人レシピ

～銀座NAGANOから長野県の新たな魅力を発信～

全農長野県本部生産販売部は、昨年10月に東京・銀座にオープンした長野県のアンテナショップ「銀座NAGANO」で、飯綱町出身の野菜ソムリエK AORUさんが長野県産農産物を使った特別レシピを紹介・試食するイベント「野菜ソムリエK AORUの冬野菜de美人レシピ」を開催しました。参加者は、オープンキッチンでK AORUさんが作る料理を見学した後に試食をしました。

第1回目の1月14日(水)は、「市田柿」を使った「根菜のパスタ風サラダ」市田柿のソース」など4品が紹介されました。普段は調理せずにそのまま食べる市田柿ですが、今回はしっかりと手をかけ、且つ味の特徴が表現された贅沢な一品となりました。特に「市田柿とキノコとレンコンの豆腐クリームあえ」は、豆腐に加えたクリームチーズの風味に市田柿の甘みが絶妙にマッチして、参加者の皆さんもうなずく味でした。

1月14日のメニュー
(右から、市田柿とキノコとレンコンの豆腐クリームあえ、根菜のパスタ風サラダ、市田柿のソース、市田柿のスイーツベジボール、市田柿とリンゴとないものミルク)

きのこ根菜のドライカレーを味わう参加者



アルストロメリアで彩られた会場

ました。「きのこ長イモのポタージュ、ブロッコリーとニンジンサラダ」きのこのタルタルソース」。「きのこのはちみつ生姜マリネ」など、寒い冬にぴったりのレシピでした。「きのこ根菜のドライカレー」は大量に作って冷凍保存できるため、忙しい人には便利で野菜もたくさん摂れる一品でした。開催が食事時であったためメニューも考慮され、参加者には味もお腹も大満足していただきました。

2回とも「りんご三兄弟」のウェルカムジュースでスタートし、オープンキッチンでK AORUさんによる料理のデモンストラーション見学、試食、当日の食材の組み合わせの特徴など楽しいトーク、その日に使われた食材のおみやげと盛りだくさんの内容でした。

会場には、本県産のアルストロメリア等も飾られ会場に彩を添えました。また1階のショップスペースではイベントにあわせて市田柿やきのこの販売も行い、当日用意した分が完売となるほど盛況でした。

生産販売部は今後も農産物の新しい食べ方を提案し、消費拡大につなげていきます。

長野駅ビル内レストランに食材提供!

全農長野県本部生産販売部は、3月7日(土)にオープンする駅ビル「MIDORRー長野」内のレストラン「長野県長寿食堂」に、長野県産野菜・きのこ・果実を無償提供します。

このレストランは、長野県と株式会社きちりが、食を通じた健康づくりの推進と長野県産食材のブランド化及び健康長寿の発信を目的に連携・協力して出店されます。長野県は野菜の摂取量が全国第一位(厚生労働省平成24年国民健康・栄養調査報告)であり、野菜は長寿を支える食事に欠かせないとの考えから野菜中心のメニュー展開が予定されています。



1月23日に県庁で開かれた記者発表会の様子

北陸新幹線開業試乗会で りんごジュースをプレゼント

全農長野県本部果実課は2月5日(木)と6日(金)、北陸新幹線試乗会の参加者にりんごジュースを合計1,500本プレゼントしました。

5日は果実課職員が新幹線に乗り、「信州産リンゴで作った無調整のりんごジュースです」と紹介しながら、参加者に直接手渡しました。参加者は「長野のリンゴ、大好きです」「うれしい」と言いながら笑顔で受け取っていました。

長野駅の新幹線ホームでは県内のゆるキャラがお出迎えし、「信州力」も参加しました。金沢から試乗列車で到着した参加者は、停車時間の40分間にゆるキャラと写真撮影をしてふれあいを楽しんでいます。

北陸新幹線の開業は社会的にも関心が高く、全国的な報道により観光客の増加が期待できます。この機会を商機と捉え、県産果実および加工品の消費拡大につながる企画に取り組みます。



加賀友禅を着たお客様と取材を受ける「信州力」



新幹線の到着を待つゆるキャラ

おいしい畜産料理やデザートで和やかに交流

「信州の畜産・酪農家との交流会2015」を開催

長野県生乳生産販売委員会青年部会とJA長野県・信州肉牛生産販売協議会、JA長野県・信州ポーク生産販売協議会、全農長野県本部畜産酪農部は、1月31日(土)に松本市のぶどうの郷山辺ワイナリーで「信州の畜産・酪農家との交流会2015」を開催しました。信州産の畜産・酪農製品を広く知ってもらうと、畜産酪農家の後継者と消費者の交流を深める目的で開いたもので、生産者、消費者、関係者の31名が参加しました。

信濃町で酪農を営む同委員会青年部会の阿部智和会長は「若い生産者が集まり、消費者の皆さんと交流しながら、信州産の畜産・酪農やその生産物を知ってもらう良い機会です。ワインと一緒にそのおいしさを



信州産畜産・酪農品の料理を堪能した交流会

感じていただき、我々の仕事についても興味を持ってもらえればうれしい」と挨拶しました。

交流会では、畜産酪農に関する基礎知識のクイズ、パネルによる酪農・肉牛・養豚の紹介、信州産100%原料の畜産酪農品の展示等を行い、信州の畜産酪農を紹介しました。参加者は地元産ブドウで仕込んだワインを飲みながら、信州牛肉のワイン煮込みや信州SPF豚のローストポーク、信州産牛乳を使用したデザートなどを堪能していただきました。

参加者は「普段は生産者の方と話す機会がないので、とても楽しかった」「信州産の中にも色々な種類の畜産物があると聞いたので、買い物の際は気に掛けたい」「買い物をする際は値段で判断していましたが、今日食べたお肉やデザートがとてもおいしかったので、今後は信州産に注目して買いたい」と話していました。

今後も消費者の皆さんに安全安心な畜産酪農製品をお届けし、長野県の畜産酪農について理解していただける取り組みも行っていきます。

地域を超えた連帯感を醸成

「第40回肉牛を育てる女性の集い」

JA長野県・信州肉牛生産販売協議会と全農長野県本部は1月29日(木)、戸倉上山田温泉の遊子千曲館で、「第40回肉牛を育てる女性の集い」を開きました。本県の肉用牛事業における女性の役割は極めて重要であるため、女性相互間の情報交換と連帯感を高めることを目的に開催し、生産者とJA・行政等関係団体職員73名が出席しました。

研修会は、長野県農政部園芸畜産課の市川祐司主任、長野県畜産試験場酪農肉用牛部の佐藤隆主任研究員、当県本部畜産酪農部の東條博之技術審議役が講師をつとめ、「和牛におけるET技術」をテーマに講義をしました。また、飯島千鶴氏(バイオリニスト)と大瀬仁子氏(ピアノリスト)をお招きし、研修会終了後には演奏会を開催しました。

出席された生産者からは「年1回の女性だけの集まりで、毎年楽しみにしている。今日一日は仕事を忘れ、ゆっくりと毎日の疲れを癒したい」などの感想をいただきました。

今後も当協議会は長野県の畜産事業発展のため、地域を越えて連帯感を高められるよう、研修会等を開催していきます。



講義に耳を傾ける参加者

減塩できる！と注目の「乳和食」

「学校給食関係者を対象に「食べる牛乳セミナー」開催」

全農長野県本部酪農課と東海酪農業協同組合連合会は、1月22日(木)に駒ヶ根市総合文化センターで「食べる牛乳セミナー」を開催しました。

管理栄養士で料理家の小山浩子氏を講師に迎え、長野県学校保健会栄養教諭・学校栄養職員部会から中中信地域の26名が参加しました。

実習では牛乳・乳製品・県産食材を使い、「ミルク豚汁」「鯖のミルクみそ煮」「鮭のミルクちらし寿司」「ふわふわがんもどき」「ミルクコーヒーどら焼き」の5品を調理しました。中でも「鯖のミルクみそ煮」は、

「使用するみそ(塩分)が通常の半分でも、牛乳を入れることで味が調っておいしい」と好評でした。また、「鮭のミルクちらし寿司」は大量調理が出来るメニューであるという点に注目が集まりました。実習後は「乳和食のすすめ」おいしく減塩」という演題で、ユーモアを交えながら講演をしていただきました。参加者は、料理への多様な牛



講師のデモンストレーションに見入る参加者



できあがった乳和食5品

県産きのこのおいしさを味わって

「長野灯明まつりでの汁の振る舞い」

JA長野県グループは2月11日(水・祝)と14日(土)、長野市の善光寺周辺で開催された「第12回長野灯明まつり」できのこ汁を振る舞いました。これは、県産農産物の消費拡大、TPP交渉におけるJA長野県グループの主張に対する理解促進対策、みんなのよい食プロジェクトの周知を目的に行いました。きのこ汁は、11日はJAながの、14日はJAグリーン長野と連携し、両日とも1,500杯を用意しました。

夜6時の点灯に合わせて多くの人が会場に繰り出し、きのこ汁を振る舞うテントにも長い列ができました。列に並んだ方にTPP交渉の理解促進チラシやみんなのよい食プロジェクトのティッシュを配布し、理解と協力を呼びかけました。きのこ汁は「体が温まる」「きのこのダシが出てとてもおいしい」と好評で、1時間半で終了しました。

また、長野灯明まつり内のイベント「雪中宝探し」のJA長野県特別賞に、三ツ山マークのぶなしめじ、えのきたけ、信州力グッツを提供し、県産きのこの消費拡大に努めました。



長い列ができたJA長野県グループのテント

憧れのリンクで ベストパフォーマンスを！

〔第35回全国中学校スケート大会に協賛〕

全農長野県本部は、1月31日(土)から2月3日(火)に長野市のエムウェーブとビッグハットで開催された「第35回全国中学校スケート大会」に協賛しました。この大会は歴代のオリンピック選手をはじめ現在第一線で活躍している選手を輩出してきました。会場のエムウェーブとビッグハットは世界のトップ選手が参加する大会も開催されており、中学生にとって憧れのリンクです。

当県本部は、両会場のリンクに「僕らはおいしい応援団」のキャラクターが入ったバナー掲出とプログラムへの広告掲載、大会の様子が放映されたテレビ番組にCMを提供しました。当県本部はこれからも、食を通してスポーツを応援していきます。



ロゴマークの入ったバナーが掲出されたビッグハット(左)とエムウェーブ(右)

A-Board

明日の食と農を支えるチカラ 募集します。

2016年度
新採用職員募集



応募方法など詳細が決まり次第ホームページ等でお知らせいたします。

<http://www.nn.zennoh.or.jp/>



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

お問い合わせ先
管理部門人事課 浦野・神山(ごうやま)
〒380-8614 長野市大字南長野北石堂町1177番地3
TEL026-236-2160 E-mail nn-jinji@nn.zennoh.or.jp

編集後記

3月号の編集で、長野市内では「善光寺灯明祭り」がありました。当県本部でも、きのこの鍋の振る舞いを行い、きのこのPRと、祭りの盛り上げのお手伝いをさせていただきました。

イベントでのきのこの鍋の振る舞いには、PRキャラクターの「信州力」の着ぐるみ出動が殆どセットになっています。松本市の「アルウィン」でも、子供や女性が「信州力」に抱きついたり、一緒に写真を撮ったり、結構人気のキャラクターになっています。

巷では様々なキャラクターが出ては消えています。一般的に、商品や企業との関連付が定着するまでメジャーになるキャラクターは極一部のようです。さてさて、「信州力」はどこまでメジャーに育つでしょうか。

「ジバニャン」と「ひこにゃん」、全く関係ないことを最近になって理解したNでした。

(N)

3月の動き

企画課	●子会社等臨時株主総会 3月18日(火) JA長野県ビル
総務課	●地区別総代会議(関東・甲信越) 3月5日(火) 東京都内 ●会員会議 3月27日(金) JA長野県ビル
人事課	●定年退職者辞令交付式 3月31日(火) JA長野県ビル ●新採用職員入会式 4月1日(水) JA長野県ビル
営農センター	●第9回JAグループ国産農畜産物商談会 3月10日(火)～11日(水) 東京国際フォーラム
米穀課	●上諏訪街道 春の呑みあるき 3月28日(土) 諏訪市
果実課	(JA長野県農産物PR協議会) ●「ふるさとの食にっぽんの食」 全国フェスティバル 3月7日(土)～8日(日) 東京都内
A・コープ事業部	●ひなまつり特集 2月27日(金)～3月1日(日) A・コープ各店舗 ごちそうメニュー各種ご奉仕いたします。 ●「A・コープご愛顧感謝祭」 3月1日(日)～30日(月) A・コープ各店舗 ●全国有名弁当まつり 3月14日(土) A・コープ各店舗 全国の有名駅弁・空弁などが大集合 ●「春のお彼岸特集」 ～ポイント2倍サービスデー～ 3月20日(金)～22日(日) A・コープ各店舗 切花をはじめお彼岸商品大放し！！ ●「A・コープご愛顧感謝祭」 ～ポイント2倍サービスデー～ 3月27日(金)～30日(月) A・コープ各店舗 決算価格にご奉仕いたします。 3月31日(火)と4月1日(水)は、全店舗お休みをいただきます。

JA全農長野の事業現況

平成26年度1月末部門別実績表 (単位:百万円,%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
米	穀	15,390	89	91
果	実	33,368	105	104
野菜	花き	64,913	108	102
野菜種苗	センター	173	96	101
きのこ		18,731	92	100
営業		12,611	100	103
生産販売部計		145,186	102	101
包装資材		7,563	91	90
生産資材		10,713	111	90
農業機械		5,370	93	84
施設住宅		2,856	128	70
生産購買部計		26,502	102	86
畜産		10,434	111	104
三岳平谷牧場		219	118	115
SPF繁殖センター		232	99	104
酪農		14,970	110	104
八ヶ岳牧場		224	88	98
畜産酪農部計		26,080	110	104
燃料・ホームエネルギー		25,824	100	91
SS協同経営		10,053	104	96
生活		11,699	99	98
生活部計		47,576	100	94
A・コープ事業部計		26,649	102	102
長野県本部計		271,993	103	98

小平奈緒は、 「信州」を食べて 育ちました。

スピードスケート
小平奈緒 選手
所属:相澤病院(松本市)



グリーンリーダー3月号(毎月発行) 2015年2月20日発行 第430号
発行/ JA全農長野 長野市大字南長野北石堂町1177番地3 発行人/高木幸一郎 印刷/PO印刷株式会社 長野市青木島3丁目3番地3



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



JA全農長野ホームページ <http://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JAタウン」 <http://www.ja-town.com>

